

# LX-G16

# 取扱説明書

取扱説明書



オートバイBluetooth通信インカム

**LEXIN**





# Catalog

## 目次

P01 Function Introduction  
機能紹介

P02 Product Packaging  
商品に含まれるもの

P03 Installation Instructions  
取付方法

P06 Basic Operation  
機能と操作方法

P16 Maintenance & Certification  
認定及び安全認証



## Function Introduction 機能紹介

- ・ Bluetooth 5.0
- ・ CVC&DSPノイズキャンセル
- ・ LEDヘッドランプ付き
- ・ USB Type C (充電コネクタ)
- ・ 音声ガイド
- ・ 他社のインカム機種との接続可能
- ・ LX-G16は最大16台まで接続できて、最大約2,000mの接続距離でインカム通話が可能です。
- ・ ハンズフリー通話
- ・ 音楽再生
- ・ ナビ音声案内
- ・ FMラジオ
- ・ 音声コントロール

LX-G16はBluetooth 5.0仕様で、HSP、HFP、A2DPのプロファイルにも対応しているユニバーサルインカムであり、本製品以外のBluetooth搭載インカムとペアリングが可能です。

### スピーカー

40mmの高性能ステレオスピーカーが付属します。分離式のスピーカーマイクはジェットヘルメットおよびフルフェイスヘルメット、どちらのタイプにも取り付け可能です。高音質薄型スピーカーでクリアな音質の通話を実現します。業界トップレベルの風切り音や環境騒音などを低減するノイズキャンセリングを備えるマイクで、走行中もパワフルな音量で高音質なサウンドを聞くことができます。

### バッテリー

LX-G16は電池容量800mAhのリチウム電池を採用し、約15時間の連続通話や15時間の音楽再生ができます。連続待機時間は最大1週間です。※使用方法・使用環境により、使用可能時間は変わる場合があります。

**機能の優先順位:** 複数の機能を同時に使うことはできません。次の優先順位で動作します。(上段から優先されます)

1. スマートフォン、携帯電話 (通話)
2. インカム同士の会話
4. 音楽/FMラジオ/ナビ

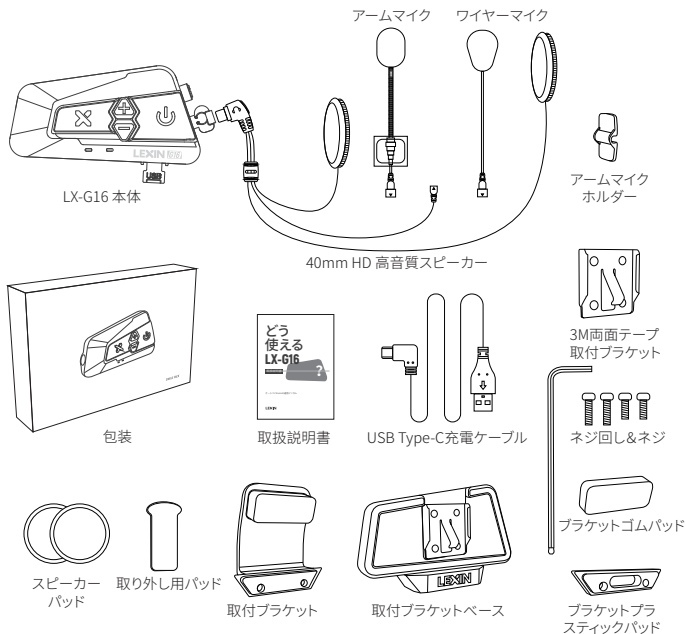
**注意:** 優先順位が高い機能を使うと順位が低い機能は中断されます。例えば、ラジオはインカムで会話するときには中断され、インカム同士の会話中にスマートフォンに着信があるとインカム同士の会話は中断されます。

### 安全に正しくお使いいただくために

**注意:** オートバイ運転中の携帯電話や通信機などの使用に関しては、事前に使用地域の法律などをよくご確認ください。

## Product Packaging 商品に含まれるもの

- ・ LX-G16本体
- ・ 40mm HD 高音質スピーカー
- ・ 取付ブラケットベース
- ・ 取付ブラケット
- ・ ブラケットプラスチックパッド
- ・ ブラケットゴムパッド
- ・ 本体外す用パッド
- ・ 3M両面テープブラケット
- ・ アーム/ワイヤーマイク
- ・ アームマイクホルダー
- ・ 取扱説明書
- ・ USB Type-C充電ケーブル
- ・ スピーカーパッド
- ・ ネジ回しとネジ\*4





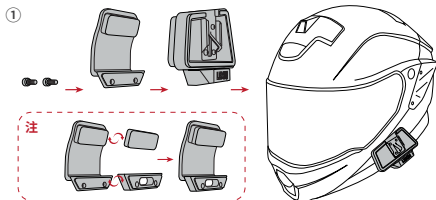
## Installation Instructions 取付方法

### ブラケットの取付

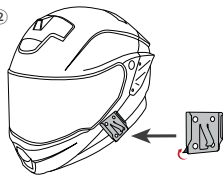
#### ① 取付ブラケット(ネジでの固定)で取り付ける

取付ブラケットをヘルメット左側の帽体と内装の間に入れてから、取付ブラケットに取付ブラケットベースをネジで固定します。

**ご注意:** ヘルメットのサイズと形によって、取付ブラケットの厚さを増やしたい場合、同梱されているブラケットゴムパッドをご利用ください。ブラケットプラスチックパッドを利用して、下側の厚さを増やすことが可能です。ブラケットプラスチックパッドをご利用いただく場合、長いネジで固定してください。



②



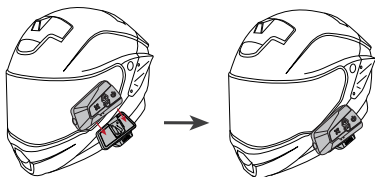
#### ② 3M両面テープブラケットで取り付ける

取付ブラケット(ネジでの固定)を使いたくないもしくは使えない場合、3M両面テープブラケットをご利用ください。両面テープをつける前にヘルメット表面をよく拭いて油分を落としてから、しっかりと押し付けてください。※装着後、すぐに使用せず、24時間程度経過してから使用してください。

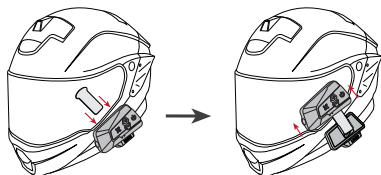
**ご注意:** 本製品は取付ブラケット(ネジでの固定)での取り付けをおすすめします。両面テープでの固定の場合は、それに起因する損害に対して弊社は責任を負いません。

**インカム本体の取付け・取り外し**

LX-G16本体をブラケットに合わせ、上からスライドさせ、ゆっくりと本体を押し込みます。※カチッと音が鳴るまで最後までしっかり押し込んでください。

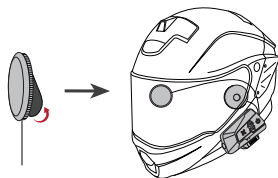


LX-G16本体をブラケットから外す場合、同梱した取り外し用パッドをご利用ください。取り外し用パッドを本体とブラケットの間に差し込んで、本体を下から上に向かって押し上げて、本体を外します。

**スピーカーの取付**

**注意:** FMラジオの感度をよくするため、短い配線のスピーカーは左耳に、長い配線のスピーカーは右耳に装着ください。

1. ヘルメットの内側にスピーカーを配置します。ベルクロパッドを使用して固定してください。
2. ヘルメットの耳ポケットが深い場合は付属のスピーカーパッドを使用して調節してください。
3. 配線はヘルメット内装と帽体の間に押し込んでください。

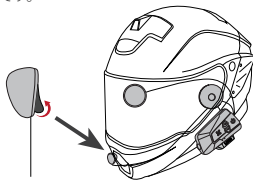


### マイクの装着

**注意:** ワイヤーマイクはフルフェイスヘルメットに、アームマイクはオープンフェイスヘルメットに使用します。どちらのヘルメットにも対応可能です。

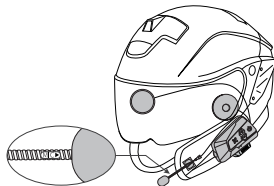
#### ワイヤーマイクの装着

1. フルフェイスヘルメットにマイクを装着する場合、ヘルメットの中心部分にワイヤーマイクがつけられるように両面テープでベルクロパッドをつけてください。
2. ワイヤーマイクをベルクロパッドにつけてください。
3. 左側のスピーカーと接続してください。



#### アームマイクの装着

1. ヘルメットの内装に両面テープでベルクロパッドをつけてください。
2. アームマイクをベルクロパッドにつけてください。その際、マイクの白い三角マーク表示が口の方を向くように調整してください。
3. 必要であれば、アームマイクホルダーをご使用ください。

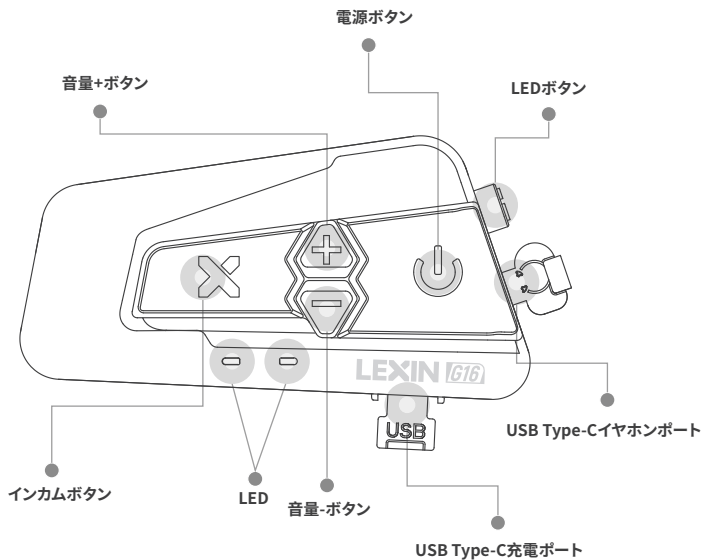






## Basic Operation 基本操作

電源のオン/オフ = **X** + **⏻** 同時に1秒間押す





## 電源のオン/オフ

### 電源を入れる

1. 電源がオフのまま、電源ボタンとインカムボタンを同時に約1秒間長押しします。青色LEDランプが点滅すれば、電源がオンになります。
2. また、その際に音声でバッテリーの残量をお知らせします。

### 電源を切る

電源ボタンとインカムボタンを同時に約1秒間長押しします。赤いLEDランプが1回点灯し、電源がオフになります。

## バッテリー

### 充電の仕方

1. LX-G16本体と充電器をUSB-Cケーブルで接続すると充電が始まります。
2. 任意のDC 5V電源で充電できます。例えば、スマートフォンの充電器、パソコンなどのUSBポートで充電できます。なお、充電器は付属しません。
3. 充電が開始されると、赤いLEDランプが点灯します。充電が完了すると青色LEDが点灯します。
4. 約3時間でフル充電することができます。

### バッテリー切れお知らせ機能

1. バッテリー残量が30%以下になると、5分間ごとにピーブ音が鳴り、バッテリー残量が低下していることをお知らせします。
2. "バッテリーロー"のお知らせから約1-1.5時間でバッテリー切れとなります。

### バッテリー残量お知らせ機能

1. LX-G16の電源をオンにすると、音声でバッテリーの残量をお知らせします。
2. バッテリーレベルを知りたい場合、音量-ボタンを約1秒間押ししてください。現在のバッテリーレベルを音声でお知らせします。

**注意:** バッテリーレベル: 100%→80%→50%→30%→バッテリーローとなります。

## 音量調整

### 音量up・down

1. 音量ボタンの+ボタンと-ボタンで音量調節することができます。  
音量ボタンを1回押すと、1つずつ音量を調整でき、音量ボタンを長押しすると、連続して調整できます。

音量+ボタンを押して、音量を大きくすることができます。

音量-ボタンを押して、音量を小さくすることができます。

**注意:** スマートフォンの音楽を聞く時、スマートフォン側の音量は最大に調整してください。

2. 音量を最大・最小にするとピーブ音がします。

**注意:** 音楽再生・FMラジオ・インカム通話・着信中に、音量調節することができます。



### 再生・一時停止

電源ボタンを1回押すと音楽が再生できます。再生中に電源ボタンを1回押すと音楽を一時停止することができます。

### 曲の変更

1. 音楽再生中に、音量+ボタンを2回押すと次の曲になります。
2. 音楽再生中に、音量-ボタンを2回押すと前の曲に戻ります。

**注意:** スマートフォンの音楽を聞く時、スマートフォン側の音量も最大に調整してください。

### 音楽シェアリング機能

LX-G16 (以下、A機と表記) で再生している音楽を、もう一方のLX-G16 (B機と表記) にシェアすることができます。

1. A機で音楽を再生中に、A機の電源ボタンを2回押して、シェアリングモードに入ります。
2. B機は待機モードで、B機の電源ボタンを2回押すと、A機と接続されて、自動的にA機の音楽がB機のスピーカーから流れます。

**注意:** 2台のインカム間でのみ音楽シェアリング機能が可能です。(3台以上での音楽シェアはできません)

### シェアリングを終了

A機かB機、どちらか電源ボタンを2回押すと、音楽シェアリングが中断されます。

## スマートフォン

### 着信応答

着信があった時に、電源ボタンを短く押すと、通話状態になります。

### 自動着信応答

着信があった時に、何もしないと約12秒後自動的に通話状態になります。

### 自動着信応答のオン・オフ

1. 電源を入れた状態で、音量+ボタンを約5秒間長押しして、青色LEDランプが3回点滅すれば、自動着信応答が有効になります。
2. 音量+ボタンを約5秒間長押しして、赤色LEDランプが3回点滅すれば、自動着信応答が無効になります。

### 電話を切る

通話中に電源ボタンを1回押すと電話を切ることができます。

### 着信を拒否する

電源ボタンを2回押すと、着信を拒否することができます。

### リダイヤル

音量+ボタンを2回押すと、最後に呼び出された電話番号にリダイヤルすることができます。

### ボイスコントロール

待機時に、音量-ボタンを2回押して、SiriやOKグーグルなどの音声コントロールを起動します。



## FMラジオ

### FMラジオをつける

電源ボタンを約1秒間長押しすると、FM機能がオンになります。

### FMラジオを切る

電源ボタンを約1秒間長押しすると、FM機能がオフになります。

### 放送局をサーチする

1. 高周波数へ：音量+ボタンを2回押しすと、「選曲前です」という音声して、周波数が高い方へ放送局をサーチします。
2. 低周波数へ：音量-ボタンを2回押しすと、「選曲前です」という音声して、周波数が低い方へ放送局をサーチします。

### 放送局を保存する

FMをオンにして、電源ボタンを2回クリックすると、音声でアナウンスして、現在の放送局が保存されます。最大6つの放送局を保存することができます。

### 保存された放送局を聞く

FMラジオ機能をオンにして、電源ボタンを1回クリックすると、保存された放送局を聞くことができます。

## ヘッドランプ

### ヘッドランプのオン・オフ

1. 待機時に、LEDボタンを1回押しすと、ヘッドランプがつかます。
2. もう1度LEDボタンを押すと、ヘッドランプが切れます。

### 緊急用SOSストロボモード

1. LEDボタンを約6秒間長押しすると、緊急用SOSストロボモードがオンになります。
2. もう一度LEDボタンを長押しすると、緊急用SOSストロボモードがオフになります。

## リセット

1. 音量+ボタンと音量-ボタンを同時に約1秒間長押しするとリセットされます。
2. LEDランプが赤色に点滅すれば、リセットが完了します。

## Bluetooth機器と接続する

### 注意：

1. 1台のLX-G16は最大で2台のLX-G16と1台のスマートフォンを同時に接続することができます。
2. ペ어링した後、LX-G16の電源を入れると、自動的に接続されます。前提としては接続されたデバイスのBluetoothスイッチがオンになっていることです。
3. 待機時、電源ボタンを1回押しすと、自動的に接続されます。



### スマートフォンとのペアリング

1. 電源がオフのまま、電源ボタンを約5秒間長押しします。LEDランプが青色と赤色に点滅すれば、ペアリングモードに入ります。
2. スマートフォンのBluetooth検索画面で「LX-G16」を選びます。
3. クリックすると、ペアリングし始めます。PINを入力する必要がある場合、「0000」を入力します。
4. スマートフォンでペアリングされたかどうかをご確認ください。

**注:** LEDランプが青色に点滅すれば、ペアリング完了です。

### ナビとペアリング

1. 電源がオフのまま、電源ボタンを約5秒間長押しします。LEDランプが青色と赤色に点滅すれば、ペアリングモードに入ります。
2. ナビのペアリング手順は各機器の取扱説明書をご確認下さい。説明書のペアリング手順に従って、LX-G16と接続してください。
3. ペアリングすると、LX-G16からナビ音声案内を聞くことができます。

### ユニバーサル通話機能

**他社のBluetooth対応インカム1台とペアリングして、通話することができます。他社インカムとのペアリング手順は下記となります。**

1. 待機時に、LX-G16のインカムボタンを約1秒間長押しして、LEDランプが青色と赤色に点滅すれば、ペアリングモードに入ります。
2. 他社インカムの説明書に従って、他社インカムもペアリングモードにします。
3. LX-G16のインカムボタンを1回押すと、青色LEDランプが速く点滅します。青色LEDランプが遅い点滅になると、ペアリングが完了します。
4. ペアリング完了後、LX-G16の音量+ボタンと音量-ボタンを同時に1回押して、通話状態になります。
5. 通話中、LX-G16の電源ボタンを1回押すと、通話終了となります。

### グループ通話機能

LX-G16は全二重通信のBluetoothを採用し、グループ通話機能を実現します。グループ通話機能には、4人同時通話モードと5人以上通話モードに分かれます。

### 注意:

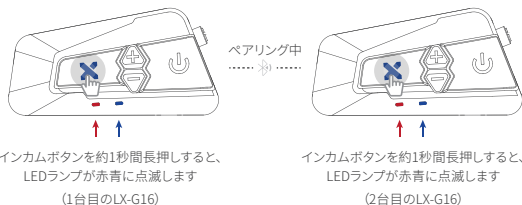
1. ペアリングする前に、リセットすることをおすすめします。音量+ボタンと音量-ボタンを同時に約1秒間長押しすると、赤色LEDランプが点滅になり、リセットされます。



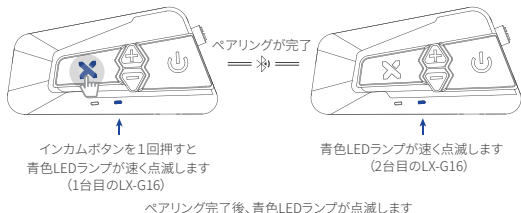
- LX-G16の初期設定は4人同時通話モードです。5人以上通話モードへの切替は、待機モードで、LX-G16の電源ボタンを約8秒間長押しします。「ビブビブ」という音がし、赤色LEDランプが速く点滅すると5人以上通話モードに入ります。
- この操作は記録されませんので、LX-G16の電源を切り、再起動を行うと、自動的に4人同時通話モードになります。5人以上通話モードにするためには、毎回電源ボタンを約8秒間長押しすることが必要です。5人以上通話モードに入った後、ペアリング手順に従ってペアリングを行ってください。
- 「4台のペアリング手順」に従って、4台のLX-G16を接続することができます。

#### 手順1: インカムボタンで2台のLX-G16を接続する。

- 2台のLX-G16を電源オンにします。両方ともインカムボタンを約1秒間長押しすると、ペアリングモードに入ります。LEDランプが青色と赤色に点滅します。



- どちらか片方のLX-G16のインカムボタンを1回押すと、自動的にデバイスを検索し接続します。接続中、青色LEDランプが速い点滅になります。

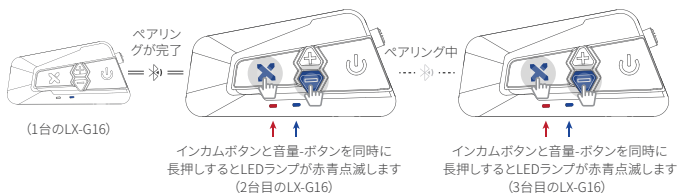


**注:** 2台のLX-G16をペアリングする場合は手順1のみでペアリングすることができます。ペアリングはここまで完了となります。以下のペアリング手順を行う必要がありません。15ページのインカム通話の操作をご覧ください。



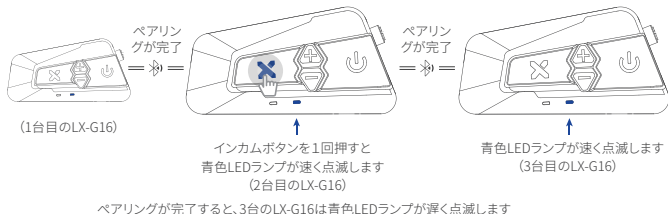
## 手順2: インカムボタンと音量-ボタンで3台目のLX-G16を接続します。

①3台目のLX-G16の電源をオンしてから、2台目と3台目のLX-G16のインカムボタンと音量-ボタンを同時に約1秒間長押しすると、ペアリングモードに入ります。音声でのアナウンスがあり、LEDランプが青色と赤色に点滅します。



②どちらか片方のインカムボタンを1回押すと、自動的にデバイスを探して接続します。接続中、青色LEDランプが速く点滅します。

青色LEDランプが遅い点滅になれば、ペアリングが完了します。



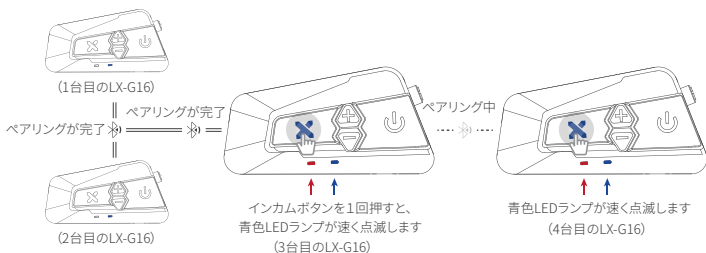
**注:** 3台のLX-G16をペアリングする場合は手順2のみでペアリングすることができます。ペアリングはここまで完了となります。以下のペアリング手順を行う必要がありません。15ページのインカム通話の操作をご覧ください。

### 手順3: 4台のペアリング手順

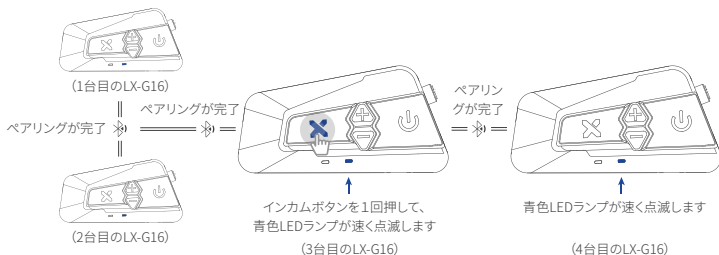
順番に手順1及び手順2を行うことで、4台以上16台までのLX-G16インカム同士を接続することができます。

#### ペアリング手順:

- 上記の手順1に従って、1台目と2台目のペアリングを行います。
- 上記の手順2に従って、2台目と3台目のペアリングを行います。
- 上記の手順1に従って、3台目と4台目のペアリングを行います。3台目と4台目のLX-G16のインカムボタンを約1秒間長押しすると、ペアリングモードに入ります。LEDランプが青色と赤色に点滅します。



#### 4. 片方のインカムボタンを1回押すと、ペアリングが完了します。



ペアリングが完了すると、4台のLX-G16は青色LEDランプが遅く点滅します

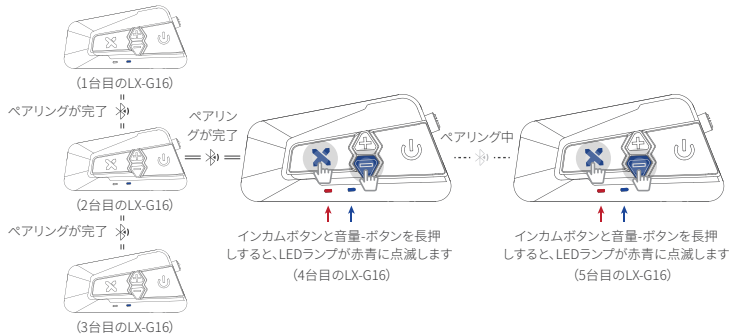
**注:** 4台のLX-G16をペアリングする場合は手順3のみでペアリングすることができます。ペアリングはここまで完了となります。以下のペアリング手順を行う必要がありません。15ページのインカム通話の操作をご覧ください。



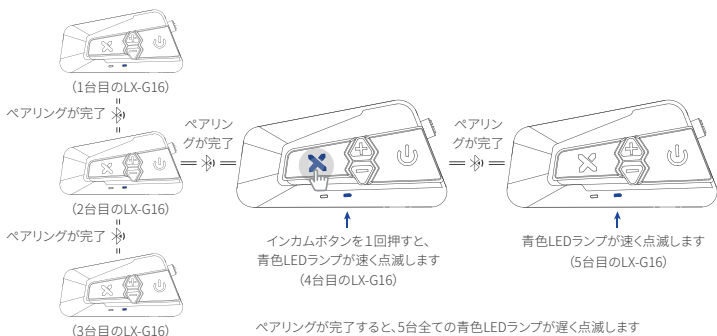


### 5台以上のペアリング手順

1. ペアリング前に、全てのインカムの電源ボタンを約8秒間長押しして5人以上通話モードにしてください。赤色ラインが3回点滅するとともに、「ピブピブ」という音がします。
2. 上記の手順1に従って、1台目と2台目のペアリングを行います。
3. 上記の手順2に従って、2台目と3台目のペアリングを行います。
4. 上記の手順1に従って、3台目と4台目のペアリングを行います。
5. 上記の手順2に従って、4台目と5台目のペアリングを行います。インカムボタンと音量一ボタンを同時に長押しして、ランプが赤青点滅になれば、ペアリングモードに入ります。

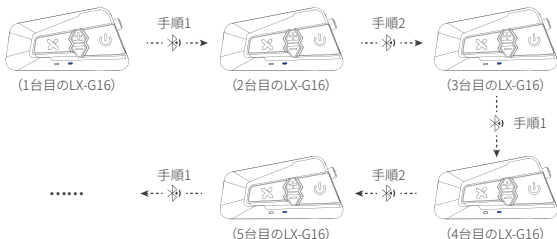


片方のインカムボタンを1回押しすと、自動的にデバイスを検索し接続します。青色LEDランプが遅く点滅すれば、ペアリングが完了します。



### グループ通話のペアリング手順は下図のように行います。

注意:5人以上のグループ通話を行う場合、最初に5人以上通話モードに切り替える必要があります。



**注:** 1台のLX-G16は最大で他の2台のLX-G16と同時に接続することができます。つまり、左右(もしくは前後)1台ずつとのペアリングになります。例えば、3台目のLX-G16は2台目及び4台目のLX-G16とペアリングした場合、他のデバイスと接続することができません。

### 2台間での通話

- ① ペアリング後、片方のインカムボタンを1回押すと、通話状態になります。
- ② 片方の電源ボタンを1回押すと、通話を終了します。
- ③ 通話を再開したい場合、インカムボタンを1回押すと、インカム通話に戻ります。

### 3人以上での通話

- ① 3台以上でペアリング後、どれか1台のインカムボタンを1回押すと、グループでの通話状態になります。
- ② 電源ボタンを1回押すと、電源ボタンを押した人が通話グループから抜けます。5人以上通話の場合、1人が電源ボタンを1回押すと、その人が通話から抜け、2つのグループ通話に分かれます。
- ③ グループ通話から抜けた人が再度インカムボタンを1回押すと、グループ通話に戻り、再び1つのグループ通話となります。

### 例)8人でのグループ通話から1人が一度抜けて、また戻る場合

3台目のLX-G16の通話を終了すると、自動的に1台目と2台目、4台目～8台目のグループ通話に分かれます。3台目のLX-G16はこれらのグループ通話から外れます。

再度、3台目のインカムボタンを1回押すと、8人でのグループ通話に戻ります



### 注意事項

#### グループ通話:

1. グループ同士の接続はチェーンのような関係で、各LX-G16はチェーンの中の一つのコマとして機能します。ツーリング時の通話範囲の最大化を図るため、走行順は接続順と合わせてください。
2. グループで通話している時、他のBluetooth対応インカムと接続することができません。スマートフォンとは接続することができますが、電話に着信があるとグループ通話は終了し

#### 接続:

他の機器と接続する場合、数秒かかることがあります。接続が完了してから通話をしてください。

#### 通話範囲:

会話中にライダー間の距離が離れると、ノイズが入ったり無音になったり接続が中断されることがあります。距離が近づくと、自動的に再接続されます。

#### バッテリー保護:

バッテリーを保護するため、通話しない時は接続を切ってください。

## Maintenance & Certification 認定及び安全認証

#### • FCC規則

本製品はFCC (連通信委員会)ルールとCEマークを取得済みです。

#### • 技適マーク

本製品は技適マークを取得済みです。

### 本製品を安全にご使用いただくために

- LX-G16を安全にお使いいただくために、下記の事項を必ずお読みください。本製品を道路で使用する場合は、各都道府県、各地方自治体の条例に従ってください。
- 大音量で聞きながら運転しないでください。
- 運転に必要な様々な音が聞き取れなくなり、重大な事故の原因となる場合があります。
- 本体に無理な力をかけないでください。破損や故障など動作不良の原因となる場合があります。
- 本製品を分解・改造しないでください。火事や感電の原因になる場合があります。

**不具合には**

下記のような場合は、説明書をもう一度ご確認ください。それでも解決しないときは、保証書に記載されている連絡先までお問い合わせください。

**LX-G16の電源が入らない場合**

- ・本機の電源がオンになっているかを確認してください。
- ・バッテリーが十分充電されているかを確認してください。
- ・充電中、赤色LEDランプが点灯しているかを確認してください。
- ・他の充電ケーブル、コンセントと充電アダプターを交換して、充電できるかを確認してください。
- ・3時間フル充電して、LEDランプが青色になるかを確認してください。

**LX-G16がスマートホン/携帯電話とうまく連動しない場合**

- ・本機の電源がオンになっているかをご確認ください。
- ・バッテリーが十分充電されているかを確認してください。
- ・スマートホン/携帯電話が通話可能かを確認してください。
- ・スマートホン/携帯電話のBluetooth機能がONになっているかを確認してください。
- ・本機とスマートホン/携帯電話へのペアリングが正常に完了しているかを確認してください。
- ・本機をリセットしてからスマートホン/携帯電話の再起動を行い、取扱説明書を参照してペアリングをやり直してください。※スマートホン/携帯電話のBluetooth登録情報を解除し、電源を切り、再起動を行います。

**通話相手にこちらの音声がかえらない場合**

- ・スピーカーマイクがしっかり差し込まれているかを確認してください。
- ・本体にマイクパーツが確実に取り付けられていることを確認してください。
- ・マイクの集音ホルルの向きが口の方向を向いているかを確認してください。
- ・同梱されたもう一方のマイクと交換して、音声が届くかを確認してください。

**保証書**

品名	LX-G16
保証期間	インカム本体はご購入から1年間、スピーカーマイクはご購入から6ヶ月間
購入店名	
お客様ご氏名	
お客様ご住所	
ご購入日	

**保証規定**

- 本製品の保証期間は購入日から1年間として、その期間内に製品の製造上の不良または材質の不良による故障が発生した場合、弊社の判断で、無償修理、製品の交換もしくは同等品への交換を行います。
- ただし、本製品の使用上の誤りや事故、あるいは不当な修理や改造による故障の場合には保証範囲外となります。また天災による故障の場合にも保証範囲外となります。
- スピーカーマイク等は消耗品のため、保証期間が6ヶ月となります。保証期間中、あるいはご使用過程での紛失や劣化、破損、接続不良などが生じた場合、保証範囲外となります。予めご了承ください。
- 本製品の故障による直接的あるいは間接的損害(事故、傷害、時間の損失、不便の発生、利益の損出、付随的に発生した費用)に関しましては、一切の保証、責任を負いかねます。
- 外観上本体に大きな外傷、割れがある場合、保証対象外とさせていただきます。予めご了承ください。
- 保証修理を依頼される場合は弊社【返品・交換受付】(下記メールアドレス)までメールをお送りください。
- 保証期間内であっても有償となる場合もあります。予めご了承ください。
- 水の侵入による故障はいかなる場合でも保証対象外となります。予めご了承ください。

**ファームウェアのアップデート**

最新のファームウェアは下記サポートページにあるFIRMWARE UPDATESからダウンロード可能です。

ホームページ：<http://lexinjapan.com/support/>

**返品・交換受付**

保証修理を依頼される場合は弊社『返品・交換受付』(下記のメールアドレス)までメールをお送り下さい。

お買い上げ先	メールアドレス
Amazon.co.jp	katelin@lexinmotorcycle.com
ヤフーショッピング	info@lexinjapan.com

初期不良や保証期間内に故障が生じた場合、購入ショップもしくは上記メールアドレスまでご連絡ください。ご連絡いただく際に必ず下記の情報をお伝えください。

- 製品名
- 製造番号
- 購入店、購入日とそれを証明するもの(保証書)
- 故障内容
- 氏名
- 住所
- 連絡先





ベアリングの動画などについてこちらへ

ホームページ: [www.lexin-moto.com](http://www.lexin-moto.com)

お問い合わせ先: [katelin@lexinmotorcycle.com](mailto:katelin@lexinmotorcycle.com)